

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	高知工科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウチコウカダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ
	学部・研究科等名	システム工学群、環境理工学群、情報学群、経済・マネジメント学群
	担当教職員名・役職	山本真行・教授、中根英昭・教授、小林豊・准教授、吉田晋・准教授、川本倫子、小松茂久、重森総一郎、村上和子、八巻義徳、山本利水・教育講師、前田智央・就職支援課長、藤井里香・就職支援課主任、渡辺賢・就職支援課主査、石川裕子・就職支援課、松谷朝美・就職支援課
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	452
	受入企業等数	278
	受入企業等名	学外には非公開(大学HP内要パスワード)
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ,4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実社会における体験を通じて、組織の仕組みや業務の流れを実感し、職場における人間関係やマナーなどに対する理解を深め、以後の学習に明確な目標を設定させることを目的とする。他県にまたぐ広域インターンシップを実施する学生には、本学独自の宿泊費助成制度を設けサポートしている。また、グローバル化時代の人材育成に対応するため、5年前より海外インターンシップを実施し、海外で長期インターンシップを行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,9.その他
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	実習期間は、原則として夏期休暇中の2~3週間としているが、実習内容や受入機関の都合により、夏期休暇中以外の実習も認めている。(インターンシップは通年科目)
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次~3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	正規の専門科目として、インターンシップの目的・授業の進め方、達成目標、講義計画、単位認定について、成績評価について、必要なテキスト、履修の前提となる科目等、体系的なプログラムとして必要な項目をシラバスに記載している。特に成績については、講義の出席率、実習内容・態度、受入企業からの評価、事後報告等を総合的に判断して評価している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全4回の準備講座の中で、オリエンテーション、インターンシップの概要説明(第1回)、先輩の体験談(第2回)、ビジネスマナー講座(第3回)、実習前のモチベーションアップ、注意事項伝達(第4回)を実施している。別途、学生のパソコンの知識不足を補うべく、パソコンスキルアップセミナーも開講している。海外インターンシップ参加学生には、危機管理セミナー、英語研修を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学群(専攻)別に報告会を実施している。学生は、実習期間中に自身が作成した日報を元に実習を振り返り発表する。また、他の企業で実習を行った学生達の発表も聞き、それにより新たな気付きや発見等を共有し、今後の学習並びに行動目標設定に役立てている。海外インターンシップは別途振り返りを行い、全学生に向けた報告会を実施すると共に報告書の提出を義務づけている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	全受入企業に対して大学の窓口となる教員を企業担当教員として振り当て、企業担当教員は、実習先へ出向いて学生と面談し、実習の様子を確認している。同時に、企業担当者とも面談をし、実習学生の状況を把握している。海外インターンシップにおいては、教職員が実習先へ出向いて学生と面談し、異国での体調管理や危機管理等について改めて注意喚起を行うと共に、実習期間中も学生から定期的に実習報告をさせている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	本学独自の評価カードを使用して教育的効果を測定している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学独自の評価カードを使用して、主体性・協調性・理解力・責任感・規律性等について、実習前と実習後の伸び率を測定している。総合評価も行い、成長度合いを3段階で測定している。学生からは、実習終了後に本学独自の実習報告カードを提出させ、実習に対する満足度・実習成果等を測定している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位認定には、のべ10日間の実習日数が必要であるが、複数の実習先での実習日数を合計して10日間とすることもできる。ただし、その場合は日数の組合せに制限を設けており、1企業目で5日間以上、2企業目で3日間以上の実習を必須としている。実習日数が4日間以下の場合は、単位認定の対象とならない。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	複数の企業が合同で実施するインターンシップセミナーの準備会議やインターンシップ後に行う効果検証会議に参加し、学生にとって有意義なインターンシップになるよう企業と協働で実習プログラムを作成している。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習前に企業と大学間で実習内容の確認をし、可能な範囲で学生の専門分野に沿った実習内容で、研究と実地の体験が結びつくよう配慮していただいている。また、準備講座に企業担当者をお招きし、実習にあたっての心得等を企業側目線で学生に伝えてもらい、企業担当者の生の声を聞くことによって学生のモチベーションが上がるような機会を設けている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://www.kochi-tech.ac.jp/">https://www.kochi-tech.ac.jp/</a>
問い合わせ先	大学等名	高知工科大学
	担当部署名	就職支援課
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	藤井 里香
	電話番号	0887-57-2536
	メールアドレス	employ@ml.kochi-tech.ac.jp